

授業科目	インターンシップ				実務家教員担当科目	○	
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	倉富 史枝						
授業概要	<p>当科目は、企業、官公庁、諸機関など実際の職場で就業体験する教育プログラムであるインターンシップを通じて、当学科での学びに自分なりの方向性を付与するとともに、自らの職業観、勤労観を構築することを目的とする。</p> <p>※受講者が希望する企業で就業体験できる機会を保証する授業ではない。</p> <p>※就職そのものや自らの適性について考えを深める授業である。</p> <p>授業開催日の詳細は第1回目授業で伝えるが、前半の3ヶ月を就業体験に向けた社会人としての基礎知識、基本マナー等の学修に充てる。座学の授業は6回である。残りの7回～15回の授業は現場のインターンシップで充当する。</p> <p>8月上旬から9月中に、インターンシップ生受入れ可能企業へ、各自3日間程度のインターンシップに参加する。授業の終了後、研修事後報告書を提出する。</p> <p>なお、本科目は実務家として経験豊かな外部講師（一般社団法人学生就職支援協会職員）による講義を中心に指導が行われる。</p>						
授業形態	講義、演習			授業方法	グループワーク、ディスカッション		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人基礎力を向上させつつインターンシップへの参加目的を明確化し、実際の就業に向けた基礎的な知識やスキルを獲得し、発揮することができる。 2. インターンシップを通じて、働くことの意味・将来やりたいことについて考えることができる。 3. 本学での学びと自己の職業観を深化させ、適性を生かしたキャリアデザインについて考えることができる。 						
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らの進路について具体的なイメージ・目標を持ち、目標達成に必要な能力・価値観の醸成を行い、実現に向けて自発的に行動できるようになっている。 2. 自己の職業観を整理・確認し、インターンシップ期間中に現代社会の勤労観とのすり合わせを行い、自己の働き方を考えられるようになっている。 3. インターンシップ体験から自らの課題を認識すると共に、さらなる成長につなぐことができる。 4. 社会人になるうえで必要な基礎能力の開発ができています。 						

評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート		40%				毎回授業の振り返り					
発表（口頭、プレゼンテーション）		40%				授業で提示する課題についての口頭発表と受講態度					
レポート外の提出物											
その他		20%				練習用履歴書の提出（10%）、研修事後報告書の提出（10%）					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN21401J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
復習：授業内容整理										4	
授業計画											
第1回	インターンシップについて（外部講師） ・シラバス内容の確認 ・採用担当者の目線で考える採用活動とは？										
第2回	自己分析と自己紹介（外部講師）										
第3回	グループディスカッション（就職課・倉富） 観光文化学科と共同授業。他学科の学生とディスカッションを体験し、インターンシップで初対面の他大学の学生と討論できるコミュニケーション技術をみにつける										
第4回	履歴書の書き方（外部講師） 時事問題への取り組み方（外部講師）										
第5回	インターンシップ当日の仕事への取り組み方（外部講師・倉富） 当日の仕事への取り組み方、報連相、挨拶の仕方、時間管理など 職場における社会人マナー（外部講師） ことばづかいと敬語、あいさつ、身だしなみ、マナー、振る舞いについて										
第6回	インターンシップ後の取り組み（外部講師・倉富） 研修先との打ち合わせ、体験中の研修日誌作成、終了後のお礼状、実習報告書について										
第7回	インターンシップ（研修先企業にて） 事前挨拶文送付、研修、事後報告書作成など 授業アンケート										

第 8 回	インターンシップ実習
第 9 回	インターンシップ実習
第 10 回	インターンシップ実習
第 11 回	インターンシップ実習
第 12 回	インターンシップ実習
第 13 回	インターンシップ実習
第 14 回	インターンシップ実習
第 15 回	インターンシップ実習
テキスト	指定しない。適宜プリントを配付。
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	適宜授業で紹介する。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	「レポート」は、毎回の授業の振り返りを提出し、講師が次回授業で口頭にてフィードバックする。
学生への メッセー ジ・コメ ント	<p>実際の就業体験時には、しばしば社会常識を問われることが生じるため、毎日、新聞を読み、社会の動きについて理解を深めるようにしてほしい。</p> <p>将来、仕事を探す上で必要な「自分の興味があること」「自分のやりたいこと」「自分の強み」を考えられる非常に良い機会です。自分の将来のために、積極的に取り組んでください。授業回数に限られることもあり、就職課や担当教員から積極的に情報を得、自主的に計画を進め、担当教員との個別打ち合わせを進めることも必要になります。</p> <p>実際の就業体験時には、しばしば社会常識を問われることが生じるため、新聞を毎日読み、社会の動向について理解を深めるようにしてほしいです。また、殆どのインターンシップ受入事業所では髪のカラリングや身につけるアクセサリーなどについて一定の基準を設けているため、早めに就職活動に適した髪色に整えておきましょう。</p> <p>遅刻・欠席については、理由の如何に関わらず事前に連絡してください。座学 6 回の内 3 回を理由なく欠席した場合は、インターンシップ研修に参加できません。</p> <p>座学授業の予定日は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 4 月 11 日 ② 5 月 9 日 ③ 5 月下旬 ④ 6 月 13 日 ⑤ 6 月 20 日

◎7月11日